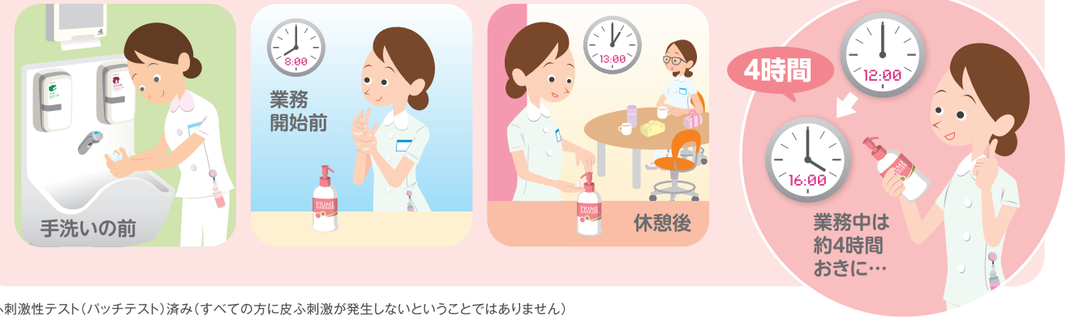
使用方法

使用頻度(目安)

- 約4時間おきに(業務開始前、休憩後など)
- 石けんでの手洗いの前に
- 約10回の手指消毒ごとに

※手肌の状態や作業内容に応じて、こまめに塗布してください。



皮ふ刺激性テスト(パッチテスト)済み(すべての方に皮ふ刺激が発生しないということではありません)

使用法

●適量(1プッシュ=約0.4mL)を
手にとり、皮ふにすり込んでください。

組成

水、シクロペンタシロキサン、BG、グリセリン、ワセリン、シクロヘキサシロキサン、ペンチレングリコール、PEG-10ジメチコン、シア脂、ヒアルロン酸、ジラウロイルグルタミン酸リシンNa、トコフェロール、ジステアルジモニウムヘクトライト、(ジメチコン/ビニルジメチコン)クロスポリマー、エチルヘキシルグリセリン、クエン酸、クエン酸Na

使用上の注意

- 本品の成分によりアレルギーが発現したことのある人は使用しないでください。
- お肌に異常がないか注意し、異常のある部位には使用しないでください。
- 使用中や使用後に赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみなどの異常が現れたときや、使用後に直射日光が当たってお肌に異常が現れたときは、使用を中止して専門医などに相談してください。
- 冬場や使いはじめは、液が出にくくなることがありますが、品質には問題ありません。
- 初回使用時は吐出するまで、ゆっくりと10~20回ポンプを押してください。
- 低温(10℃以下)で保管した場合、ローションの粘度が高まり、吐出しにくくなることがあります。その場合は、室温(25℃)にて1日静置してからご使用ください。温度変化があったとしても品質には問題ありません。

専用ディスペンサー

protecute

プロテキュート **UD-300T**

自動吐出
手を差し出すとセンサーが自動感知、ノータッチで使用液を吐出します。

コンパクト
狭いスペースにも置ける、小型タイプです。壁付けにも対応しています(専用取付板を使用)。

機能性
フロントが透明なため、使用液の製品名や開封日が確認できます。

商品コード:41754

※本体に乾電池、使用液は付属していません。

品　名	内容量 / 規 格	1梱入数	商品コード	JANコード
プライムバリアヴェール	300mL	20	52111	49-87696-52111-7

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■ 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。 ■ 記載内容は2025年12月現在のものです。

サラヤ株式会社
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
https://www.saraya.com/
お問い合わせ先　TEL.06-6797-2525
学術的なお問い合わせ先　学術部 TEL.06-4706-3938
(受付時間:平日 9:00~17:00)

SARAYA

商品の詳しい情報は
こちらから▶

医療・介護施設用

PRIME BARRIER

プライムバリアヴェール

保護　保湿

頻回な手洗いや手指消毒による刺激から手肌を保護
バリア機能でうるおい持続

実物大

300mL　MADE IN POLAND

医療現場における手指衛生のためのCDCガイドライン(2002年)および医療施設における手指衛生のためのWHOガイドライン(2009年)では、「手指消毒や手洗いに関連した刺激性接触皮膚炎の発生を最小限に抑えるために、医療従事者にはハンドローションやクリームを提供する(カテゴリーIA)」ことを勧告しています。

うるおいヴェールが手肌を守ります

商品特徴

1 手肌をやさしく包み、うるおいが持続

べたつかず肌なじみの良いハンドローションです。

2 保湿と保護のダブル作用で手肌を守ります

保護成分（柔軟成分）としてワセリン、シア脂等を高配合し、また保湿成分にヒアルロン酸、ジラウロイルグルタミン酸リシンNa等をバランスよく配合しています。

3 トコフェロール配合で肌荒れを防ぎます

肌荒れ防止成分である、トコフェロール（ビタミンE）を配合しています。

4 手指消毒剤の効果や医療用手袋の性能に影響を与えません

手指消毒剤の殺菌効果およびクロルヘキシジングルコン酸塩などの残留抗菌作用に影響を与えません。また、ニトリル手袋やプラスチック手袋などの各種手袋の性能にも影響を与えません。

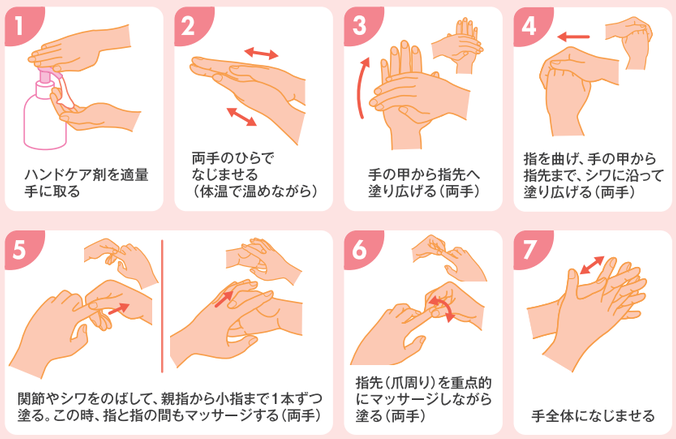
5 無香料、無着色、防腐剤フリーです

無香料、無着色のため、医療器具などへの移り香や着色の心配がありません。
また防腐剤フリーです。

ハンドケア手順（例）

準 備
手に汚れがある場合は、手洗いを行い、汚れを除去する

※手に汚れがある場合は、手洗いを行い、汚れを除去してください



バリア機能のメカニズム

プライムバリアヴェールは外部刺激から手肌を保護します

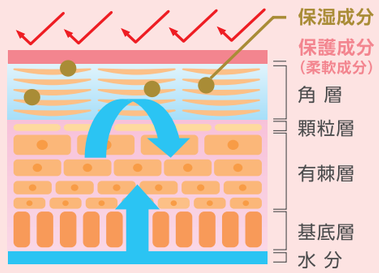


図1 保湿・保護された皮ふの構造

繰り返し手洗いからの手荒れ防止効果

被験者の手洗い前の静電容量※を測定後、プライムバリアヴェールを片手に塗布後乾燥させ、カリ石けんで両手の手洗いを8回繰り返し行いました。水気をふきとり、再びプライムバリアヴェールを同じ片手に塗布後乾燥させ、カリ石けんで両手の手洗いを8回繰り返し行いました。その後、水気をふきとり、15分以上安静にしてから、静電容量とTEWL（経皮水分蒸散量）を測定しました。

角層水分量の変化率およびTEWLの変化率は以下の式で算出しました。

■角層水分量の変化率（%）=A／B×100
A：繰り返し手洗い後の静電容量
B：繰り返し手洗い前の静電容量

■TEWLの変化率（%）=C／D×100
C：繰り返し手洗い後のTEWL
D：繰り返し手洗い前のTEWL

プライムバリアヴェールを塗布した方が未塗布と比べて、繰り返し手洗い後の角層水分量の変化率が約60%高く、TEWLの変化率は約11%低いことが分かりました。

※皮ふに水分を多く含有していると静電容量が大きくなります。

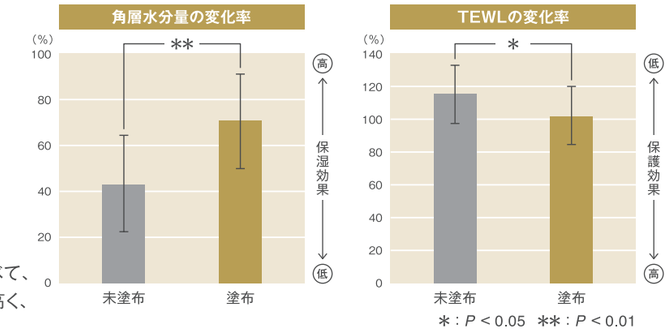


図2 角層水分量およびTEWLの変化率（mean±SD, n=10）

繰り返し手指消毒からの手荒れ防止効果

被験者の皮ふの試験部位に蒸留水を滴下し、水負荷させました。ペーパータオルでふきとった直後、30秒、60秒、90秒および120秒後の静電容量を測定しました。プライムバリアヴェールを片手に塗布後乾燥させ、70%w%エタノールで両手の手指消毒を10回繰り返し行いました。その後、再びプライムバリアヴェールを同じ片手に塗布後乾燥させ、70%w%エタノールで両手の手指消毒を10回繰り返し行いました。4時間後、同様の方法で静電容量を測定しました。

角層水分保持能の変化率は以下の式で算出しました。

■角層水分保持能（%）=A／B×100
A：水負荷から30秒、60秒、90秒および120秒後の静電容量の平均
B：水負荷直後（0秒後）の静電容量

■角層水分保持能の変化率（%）=D／C×100
C：塗布前の角層水分保持能
D：塗布4時間後の角層水分保持能

プライムバリアヴェールを塗布した方が未塗布と比べて、繰り返し手指消毒後の角層水分保持能の変化率が約11%高いことが分かりました。

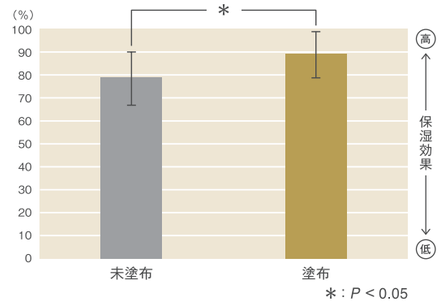


図3 角層水分保持能の変化率（mean±SD, n=10）

柔軟効果

被験者の皮ふの試験部位にプライムバリアヴェールを塗布する前、塗布し乾燥させた後、塗布してから30分後、2時間後、4時間後に皮ふを引っ張った時の最大伸長値を再度測定しました。

各塗布時間における皮ふの最大伸長値の変化率を以下の式で算出しました。

■皮ふの最大伸長値の変化率（%）=A／B×100
A：塗布前、塗布直後あるいは塗布30分後、2時間後、4時間後の皮ふの最大伸長値
B：塗布前の皮ふの最大伸長値

プライムバリアヴェールは塗布直後からいずれの塗布時間においても最大伸長値が有意に上昇し、4時間後も上昇した状態が維持されていました。

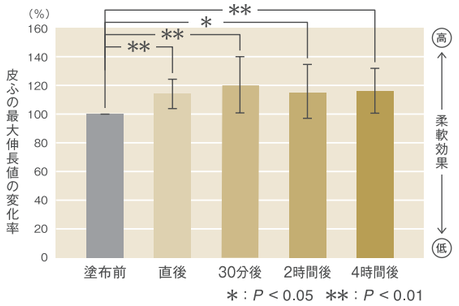


図4 各塗布時間の皮ふの最大伸長値の変化率（mean±SD, n=10）